経　済　民　生　常　任　委　員　会　記　録

令和７年12月22日（月）午前11時52分～午後０時02分（第３委員会室）

○出席委員（８名）

委 員 長	斎藤　正臣
副委員長	山田　　裕
委　　員	遠藤　幸一
委　　員	佐藤　　勢
委　　員	尾形　　武
委　　員	小野　京子
委　　員	黒沢　　仁
委　　員	渡辺　敏彦

○欠席委員（なし）

○市長等部局出席者（なし）

○案　　件

所管事務調査「国際会議観光都市認定による効果・影響に関する調査」

１　参考人招致について

２　行政視察について

３　その他

午前11時52分　　開　　議

（斎藤正臣委員長）ただいまから経済民生常任委員会を開会いたします。

議題は、お手元に配付のとおりです。

初めに、参考人招致についてを議題といたします。

正副委員長に一任いただいておりました参考人招致について、正副委員長手元で調整をいたしました。資料１、参考人紹介資料をご覧ください。今回、東北大学の大学院工学研究科の寺田賢二郎教授にご快諾をいただきました。寺田教授は、日本政府観光局のＭＩＣＥアンバサダーとしてご活躍され、実際に国際会議の誘致に成功されております。資料下段のＭＩＣＥアンバサダーの実績ＵＲＬを開き

ますと誘致の内容が掲載されております。正副委員長案としては、寺田教授を参考人として招致したいと考えております。

そこで、資料２をご覧ください。このように実施したいと考えております案でございます。日時は令和８年１月28日水曜日午前10時から、場所はこちら、第３委員会室、目的は記載のとおりです。

出席依頼者は東北大学の教授、寺田賢二郎氏、聴取内容については国際会議の誘致事例について、国際会議を誘致するために自治体に求められる役割について、本市が国際会議観光都市に選ばれるために必要なことについて、この３項目を中心に聴取してまいりたいと思っています。

当日の進め方につきましては、説明が45分、皆様からの質疑、そして教授からのご回答合わせまして45分、合計１時間30分を見込んでおります。その後、委員の皆様だけで意見開陳を行いたいと考えております。

報道機関の取材について以降は記載のとおりでございます。

以上の内容、日程で参考人招致を進めたいと考えておりますが、よろしいでしょうか。

【「異議なし」と呼ぶ者あり】

（斎藤正臣委員長）どうもありがとうございます。それでは、こちらの内容で参考人招致を実施するべく議長から参考人に対して出席依頼をしていただくよう申入れをいたします。

もう一つ、行政視察についてを議題といたします。

視察先についても正副委員長に一任いただいておりましたので、正副委員長手元で調整し、行政視察実施内容案のとおりまとめましたので、資料３をお開きください。２月４日水曜日に香川県高松市、２月５日木曜日に愛媛県松山市、２月６日金曜日に兵庫県姫路市を予定しております。

ここで、ちょっと皆様にお伺いしたいところがあるのですけれども、行程についてなのです。２通り作成しましたので、どちらがいいのか皆様からもご意見をいただきたいと思います。お戻りいただいて、行程表案をご覧になってください。四国への行政視察になりますので、ちょっと朝の早い日があるということなのです。初日に早い出発をするべきなのか、次の日早い出発にすべきなのか、２つの行程案を作成いたしました。すなわち、１日目についてなのです。１日目の２月４日水曜日の行程案には①か②というふうに書いてあります。これはどういうことなのかというと、①については初日にちょっと余裕を持たせて７時半にすれば、高松の視察が終わって、高松市内に宿泊になりますという、これが通常の行程なのかな。②の場合なのですけれども、朝、初日ちょっと早く出れば、松山市まで行けて、松山市に宿泊することができるのです。そうすると、次の日はゆっくりできるということなのです。どっちか早くしなければいけないのですけれども、私個人としては、松山の商店街というのは非常に面白いですし、路面電車もあって、大変魅力的で見どころも多く、この視察内容にとどまらない町なかを見るということは、皆さんにとっても非常に有意義なのではないのかなというふうに思っておりましたので、ちょっと初日無理して早く起きてもらって、松山まで行って、２日目ゆっくりスタートするというような行程を取れればいいかなと個人的には思っていましたが、皆様のご意

見をお伺いしたいと思いますけれども、何かございますでしょうか。

（黒沢　仁委員）委員長一任。

（斎藤正臣委員長）よろしいでしょうか。何かありますか。では、初日ちょっと、ごめんなさい、６時台の出発になってしまうのですけれども、その代わり、夜から朝にかけて松山でゆっくりできますから。なので、あと皆様と懇談会終わった後にいろいろ町なか散策もできると思いますので、そういった行程を取らせていただきたいと思いますので、１日目の行程は②としたいと思いますが、ご異議ございませんでしょうか。

【「異議なし」と呼ぶ者あり】

（斎藤正臣委員長）ありがとうございました。

それでは、資料３にお戻りください。では、行程についてざっと説明いたしたいと思います。行程は、令和８年２月４日水曜日から６日金曜日までの３日間です。

１日目は、13時30分から15時までの間、香川県高松市で、調査項目につきましては、１、第２期高松市ＭＩＣＥ振興戦略について、２、ＭＩＣＥ戦略の取組内容について、３、ＭＩＣＥ誘致、開催の実績について。

２日目、10時45分から愛媛県松山市の調査項目は、１、コンベンション協会との連携について、２、コンベンション開催の支援について、３、ＭＩＣＥ開催地としての松山の魅力について。

３日目、９時30分から兵庫県姫路市で、調査項目は、１、国際会議観光都市認定について、２、ＭＩＣＥ推進の取組内容について、３、アクリエひめじについて、４、ＭＩＣＥ誘致の今後の取組について。

その他、質問したい事項やご意見がございましたら、今皆様からご意見賜ることもできますし、後からおっしゃっていただいても構いませんけれども、今のところ何か皆様からもっとこれだというのってありますか。いろいろ、当日ご質問にはある程度しっかりお答えいただけると思うので、当日おっしゃっていただいても全然大丈夫だと思うのですけれども、取りあえず今のところはございませんね。

【「なし」と呼ぶ者あり】

（斎藤正臣委員長）では、お諮りいたします。

以上のとおり行政視察を実施することにご異議ございませんか。

【「異議なし」と呼ぶ者あり】

（斎藤正臣委員長）ありがとうございます。それでは、そのようにさせていただきます。

なお、視察項目については先方の都合により変更等が生じる場合がありますので、この件についても正副委員長にご一任いただければと思います。

最後に、その他に移ります。

委員の皆様から何かございますか。

【「なし」と呼ぶ者あり】

（斎藤正臣委員長）ありがとうございました。

なければ、以上で経済民生常任委員会を終了します。本日はお疲れさまでした。

午後０時02分　　散　　会

経済民生常任委員長　　斎　藤　正　臣